

令和4年第1回邑楽町議会定例会議事日程第4号

令和4年3月17日（木曜日） 午前10時開議

邑楽町議会議場

- 第 1 議案第15号 令和4年度邑楽町一般会計予算
- 第 2 議案第16号 令和4年度邑楽町国民健康保険特別会計予算
- 第 3 議案第17号 令和4年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 4 議案第18号 令和4年度邑楽町介護保険特別会計予算
- 第 5 議案第19号 令和4年度邑楽町下水道事業特別会計予算

○出席議員（14名）

1番	島田時男	議員	2番	佐藤富代	議員
3番	小久保隆光	議員	4番	黒田重利	議員
5番	大賀孝訓	議員	6番	瀬山登	議員
7番	松島茂喜	議員	8番	塩井早苗	議員
9番	原義裕	議員	10番	松村潤	議員
11番	神谷長平	議員	12番	小沢泰治	議員
13番	大野貞夫	議員	14番	小島幸典	議員

○欠席議員（なし）

---

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金子正一	町長
半田康幸	副町長
藤江利久	教育長
関口春彦	総務課長
橋本光規	企画課長
横山淳一	税務課長
松崎嘉雄	住民課長
山口哲也	安全安心課長
橋本恵子	健康福祉課長
久保田裕	子ども支援課長
吉田享史	農業振興課長 兼農業委員会 事務局長
小林隆	商工振興課長
齊藤順一	都市建設課長
築比地昭	会計管理者 兼会計課長
中繁正浩	学校教育課長
田中敏明	生涯学習課長

---

○職務のため議場に出席した者の職氏名

石	原	光	浩	事	務	局	長
内	田	知	栄	書			記

---

◎開議の宣告

○松村 潤議長 これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

[午前10時00分 開議]

---

◎日程第1 議案第15号 令和4年度邑楽町一般会計予算

○松村 潤議長 日程第1、議案第15号 令和4年度邑楽町一般会計予算を議題とします。

これより逐条質疑に入ります。

まず、一般会計の歳入全款について質疑を行います。予算書では60ページまでです。

質疑ありませんか。

大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 おはようございます。タブレット版でいきますと50ページ、予算書、紙ベースでいきますと46ページになります。18款繰入金、2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金、前年度よりも5,000万円マイナス、4億5,000万円が計上されております。これの根拠についてお伺いしたいと思います。これは所管ですので、町長になりますか。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 財政調整基金の取崩しが少なくて済むということは、大変運営上ありがたいところではあります。その少なくなった原因ですが、ご案内のように歳入の部分で税収の問題ですとか、それから地方交付税が前年に対して増によるという見込みの中から、トータル的に財政調整基金の取崩しを少なくして、そちらを充たさせていただくと、そういう考え方でございます。

○松村 潤議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 この財政調整基金については、何かにつけて私この問題をお伺いをしているわけですが、現在のいわゆる財政調整基金の保有額、3月補正前で20億2,000万円で、さきの3月議会の補正で2億1,000万円を積み上げて、今現在は22億3,000万円になっていると思います。町長は、これは常日頃より伺っているわけですが、財政調整基金の在り方について16億円と、その程度は必要であるということを常々言われております。何ゆえの16億円なのか、前に説明は受けたと思うのですが、16億円という規模が、町長が適正だと言っているその理由と、それから単純に考えれば、今現在6億円以上の使えるお金があるというふうに私は思うのです。その辺の差について、町長の見解をお伺いしたいと思います。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 16億円が、町の緊急事態等が発生した場合には人口的な規模、総合的に勘案して必要であろうということで、特別定まった根拠ということではありませんけれども、しかしそのよう

な有事の場合、災害しかり、伝染病等の発生等々いろいろ想定される部分はあるわけでもありますので、そういったことを町の財政運営の上では、最低それらの金額が必要ではないかということの考え方から、16億円がということ考えて、今までそのような考えで行ってきたところでもありません。

したがって、先ほども議長の挨拶にありましたが、大変な邑楽町震度4.余という状況でもありましたが、3.11の場合震度5強ということで、町内でも屋根瓦等のぐし等を中心にして、1,000戸を超える被害等があったわけでもあります。そういうことがあっては、これは即対応していくということ。あってはならないわけではありますが、しかしいつ何どきそのような状況が来るかもしれませんので、そういう考え方があります。今、議員のほうからご質問がありましたように、現時点では22億3,000万円ほどということになります。今年度2億5,000万円の取崩しということになりますと、17億8,000万円ほど残になるわけでもありますが、こういった16億円を、若干多い金額ではありますが、しかし毎年度の会計の運営の中で、それに見合う分についての歳出に4億5,000万円が振り分けられることでもありますので、私は、6億円ほどというお話がありましたが、そのことをまず16億円が残るような形での総計予算主義で行っているということでもあります。これは歳出ということが予想以上ということであれば、若干16億円を下回る場合もあるかもしれませんが、そういうことがないような形で対応していきたいと、そのように考えておりますので、現時点の財政調整基金の金額にして4億5,000万円、あるいは16億円が残るとして残るといいますか、財政調整基金として積み立てておきたいという考え方がありますので、今後もそういったことを中心に予算編成をしていきたいと、このように思います。

○松村 潤議長 大野貞夫議員。

○13番 大野貞夫議員 3回目になりますのでまとめますが、今の町長の説明でいきますと、私も必要最小限の預金というのはやっぱり抱えておかななくてはならない。今言ったように昨晩も大きな地震がありました。何があるか分からない。これは当然のことだと思います。そこにおいて、例えば今災害の問題が話されましたけれども、とても邑楽町だけで賄い切れないといった場合の状態のときには、ほかの、今までもそうなのですが、国のほうの激甚災害の指定を受けるというようなことになるわけですが、その場合は。ただ、今言ったように必要最小限の状況の中では、それぐらいのお金は邑楽町独自に対応できるというお金が、私は町長がよく言う16億円かなというふうに理解をしているわけです。

今の取崩しをしていく中で17億幾らという話も出ましたけれども、例年私が思うのは、そうは言いながらも最終的にはそれを積み上げていって、何だかんだ言いながらも20億円前後のお金があるという状況ですよね。私は、この財政調整基金というのは、要するにももとは我々の、町民の納めたお金なわけですから、これを今言ったように最低必要な限度額、これは残すとしても、それ以外のお金はできるだけ町民に還元をするということが必要ではないかというふうに常々私は

思っているのですが、最後にその辺の還元という意味も込めて、町長のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 22億3,000万円の財政調整基金がありますよということは、これは結果としてということではありますが、しかしその結果の過程の中には、先ほどもお答えしたかと思いますが、税の収入が当初見込みよりは、推計よりは増えているということとか、あるいは他の事業執行の中で町の一般財源を使用しなくも、国、県のほうから国庫支出金なり、県支出金として交付されるということもあるものですから、結果としてそういった数字が残ると。何よりも歳入歳出そのものずばりということであったときに、歳出予算を組んだときに、それが全部執行ということがこれが理想ではありますけれども、何らかの事情によってそれが執行できないということになれば、繰越しの問題やら、あるいはこの3月の補正でもお認めをいただきましたけれども、そういったものが残として残ってくると。これは結果として、そういう数字が蓄積をされた結果だというふうに理解していますので。予算に対しての執行率もできるだけ100%にいくような努力は、それぞれの担当も心得ておりますので、結果として残っていくということではありますけれども、私はそれはある意味健全な財政運営がされているというように理解をしております。議員のおっしゃることも十分理解できますが、現状ではそういった考え方で進んできていると。今後は、そういったことについては十分意見をお聞きする中で対応していければと、こんなふうに思います。

○松村 潤議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 ないということで、進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 次に、歳出の第1款議会費、第2款総務費、第3款民生費について質疑を行います。予算書では62ページから128ページまでとなります。

質疑ありませんか。

松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 タブレットですと259分の73になります。総務費、総務管理費の説明欄上から2行目の財産管理事業の中の庁舎管理事業の中の防犯カメラ設置工事なのですが、下から8行目になりますか、防犯カメラ設置工事なのですが、庁舎の管理事業の中なので、庁舎内にこの防犯カメラを設置するということになっているのかと思うのですが、今さらなのかというのが正直な気持ちです。過去に私も一般質問を行った経過がありました。そのときにも、やはり設置に向けて検討はしていくというようなご回答だったと思うのですが、ようやく設置されるような感じを受けています。110万円という予算ですけれども、そもそも設置に今回至った理由といたしまして、まずそれをお伺いしたいと思います。

それから、庁舎のこういったところに何台設置するのか、その部分も併せてお答え願えればと思います。

○松村 潤議長 関口総務課長。

○関口春彦総務課長 お答えいたします。

まず、今回防犯カメラの設置に至った経緯ですが、現在の邑楽町役場庁舎には防犯カメラが各フロアの出入口、階段あるいは玄関等の入り口のところを中心に設置されております。現在、12か所ぐらい設置してあります。主に盗難等で外部からの侵入等が行われたときに、その記録を取るためというような目的で設置されているものです。以前、議員のほうから指摘もありまして、役場以外の公共施設につきましても防犯カメラの設置されていない施設等がございましたので、それについては前年、前々年と設置をしております。

今回設置する防犯カメラは、侵入者を監視するという目的よりは、窓口等で事故、事件等が起きたときの記録を取るという目的で設置するものでございます。具体的な理由というか、経緯としましては、昨年町の職員が刃物で脅されるという事件がありまして、警察のほうの通報というのに至った、屋外だったのですが、ありましたので、同様なことがカウンター等で行われたときに、その記録が確認できるようにということで、現在役場の公用車にもドライブレコーダーを事故があったときのためにつけていますけれども、それと同じようなどちらかという目的で使うようなものでございます。

数については、現在正確な数字は持っていないのですが、1階と2階のカウンターにそれぞれつける予定になっていますので、10か所ぐらいかなというふうに思います。

以上でございます。

○松村 潤議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 大変ご丁寧なご説明ありがとうございました。よくその理由については分かりました。過去にも、そういった窓口での事件や事故等も幾つかあったという報告を受けております。もちろん職員を守るだけではなくて、いろいろな犯罪の抑止に非常に効果的なのかなというふうに私も理解をしておりますので、ぜひこれは率先して進めていくべき、また邑楽町の安全安心まちづくり推進条例の中にも公共施設、町が所有する施設において、第11条でやはり同様のことを定めております。それから、1つ前の第10条では子ども等の安全の確保、これにも努めなければならないということでもあります。そういった条例に鑑みれば、やはりまだまだ町の中では、こういった防犯対策について脆弱な部分もあるのかなというふうに思います。

先日の委員会の中でもお話をさせていただきました。先日、邑楽町においても外国人の方が腹部を刺されるという事件が発生したということで、非常に治安的にも悪くなっていってしまうという懸念もどうしてもあるのかな。そういう中で高齢者、そして子どもたち、いわゆる生活弱者と言われる方々がそういった危険にさらされる場合もあり得るということで、先ほどドライブレコーダー

のお話がありました。玄関先についているインターホン等にカメラが同時についていて、しっかり家の中から外を確認できるものであったり、また防犯カメラそのものであったり、そういったものを一般の家庭のところにも、玄関先にも設置をする場合においては、多少町のほうで、もちろん条件をつけることが必要かと思うのですけれども、そういった部分について補助を出していく、そういった施策も必要ではないかという話を委員の中でもさせていただきました。この項目と多少関連があるので、町長にその点はこういった方向で進めていくのか、その点についてもしお答えがあるようでしたら、お伺いをしたいと思います。

○松村 潤議長 金子町長。

○金子正一町長 委員会の中では、今後十分内容を調査をして検討していくというような担当のほうから説明があったかと思いますが、何といたっても治安ということ、安全安心ということを考えて、やはり最優先に考えていくことだというふうに私自身も思っていますので、状況等十分把握した中で、今後検討させていただくということで考えていきたいと思っています。

○松村 潤議長 松島茂喜議員。

○7番 松島茂喜議員 ぜひ前向きにまた考えていただきたいというふうに思います。考えなければならぬのかなという状況かなと思います。隣の大泉町では、何年か前にドライブレコーダーの設置についても補助を出すということで、新聞報道にもありました。それは大泉町独自の施策ということだったのでしょうけれども、邑楽町におきましても、今回庁舎内に数多く設置される防犯カメラによって、庁舎内の安全はある程度確保できるのかなと、抑止できるのかなと思いますが、一般の家庭においてまだまだ脆弱な部分があるということは、先ほど申し上げたとおりです。役場の庁舎内をしっかりとするのであれば、当然同じように町民の皆さんが生活していく上での安全の確保というの、町の責任かなというふうに考えておりますので、ぜひ前向きに進めていただきたいと思います。要望なので。

以上です。

○松村 潤議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 次に、第4款衛生費、第5款労働費、第6款農林水産費について質疑を行います。

予算書では128ページから156ページまでとなります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕



○松村 潤議長 次に、第7款商工費、第8款土木費、第9款消防費について質疑を行います。予算書では156ページから178ページまでとなります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 次に、第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金、第14款予備費について質疑を行います。予算書では178ページから250ページまでとなります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

大野貞夫議員。

〔13番 大野貞夫議員登壇〕

○13番 大野貞夫議員 議案第15号 令和4年度邑楽町一般会計予算に対して反対の討論を行います。

新型コロナウイルス感染症は、発生から3年目に入り、今なお医療体制の逼迫、中小零細の事業者、非正規で働く労働者、父子母子家庭など、格差社会から取り残された多くの困窮者に対して重くのしかかっています。昨日公表された厚生労働省の2021年度の自殺者は、特に女性で7,068人、2020年に前年比15.40%と急増してから高止まりの水準となっております。原因や動機を見ると、最も多かったのが健康問題ですが、2番目に多かったのが経済、生活問題の3,376人で、前年度より大幅に増えたと発表されています。

コロナ感染症も、次々と起こる新しい変異株により、また政府の科学的知見による抜本的対策の軽視により、高止まりの状況が続いています。こんなときこそ国、県、各自治体は、住民の命と暮らしを守る防波堤の役割を発揮するべきであります。

ここ邑楽町においても、コロナ感染者及び濃厚接触者は、いつどこで感染しても不思議でない状況が続いています。直近の感染者及び濃厚接触者に支給される邑楽町新型コロナウイルス感染症罹患者見舞金1人1回限り2万円は、直近の3月14日現在1,210万円が支払われています。この制度が十分徹底周知されていないがために、制度を利用できない人も私の周りでもいたことを体験しております。

このような状況の中、邑楽町は重税感のある高過ぎる国民健康保険税の減免対策、給食費無料化に向けてのさらなる拡大策、18歳までの医療費の無料化、ひとり暮らしの老人に対するさらなる施策、非正規労働者に対する待遇改善策など、子どもや女性、老人など、今まで以上に弱者に対して

の具体的対策を行うべきと考えます。

以上、これらの点を十分考慮して町政に当たられることを強く要望して、反対の討論といたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

黒田重利議員。

〔4番 黒田重利議員登壇〕

○4番 黒田重利議員 議案第15号 令和4年度呂楽町一般会計予算に対する賛成討論をいたします。

令和4年度の我が国の経済見通しでは、公的支出による経済下支えにより消費の回復や、堅調な設備投資により消費者物価の穏やかな上昇が見込まれ、令和4年度の国民総生産の実質成長率は3.2%程度と見込まれています。しかし、引き続き感染症による国内経済への影響や刻々と変化しているロシアによるウクライナ侵攻が、どのように国際政治や経済に影響を与えるかを十分注意する必要があります。

このような状況の中で、本町における令和4年度の予算規模は一般会計で89億5,500万円、前年度に比べ5,850万円の増額となっております。歳入では、新型コロナウイルス感染症による税収の落ち込みが緩和すると見込まれることから、町民税額が2億1,565万7,000円の増額となっているほか、地方交付税についても1億8,000万円の増額となっています。また、令和3年度より実施している地域通貨によるプレミアム付商品券販売金を2億円見込んでいます。町債では、臨時財政対策債が3億5,030万円の減額などが見込まれています。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業を適切に実施するとともに、国の交付金を活用して、令和3年度から行っている電子地域通貨によるプレミアム付商品券を前年同規模で実施予定となっています。

町の最重点課題としている子どもを産み育てやすい環境の整備を実感できる事業として、3歳から5歳までの園児に対して行っている給食費の無償化や町内小中学生の給食費の軽減を行っています。計画的に進められている小中学校のトイレの洋式化や施設の修繕により、学校の教育環境が改善されるほか、ICTの活用により、全員がいつでもパソコンを使用できる環境の改善などが行われています。

もう一つの最重点課題である産業振興の推進の実現に向けて、呂楽南地区の生活拠点施設整備事業の完成が予定されている中、整備される直売所を活用できるような野菜を中心とした施設園芸の規模拡大を進めており、農業収入の安定と拡大を期待します。

以上のように、引き続き厳しい財政状況ではありますが、様々な事業が取り組まれております。令和4年度は、役場機構の改革が行われます。機構改革の結果により行政課題に対して、的確な施策が実施できるようになり、大切な予算を効率的な行政運営を実施することで、多くの町民の皆さま

んが呂楽町で暮らすことで幸せが実感できるような町政運営を要望し、賛成討論とさせていただきます。

以上です。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第15号 令和4年度呂楽町一般会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第2 議案第16号 令和4年度呂楽町国民健康保険特別会計予算

○松村 潤議長 日程第2、議案第16号 令和4年度呂楽町国民健康保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

原義裕議員。

〔9番 原 義裕議員登壇〕

○9番 原 義裕議員 議案第16号 令和4年度呂楽町国民健康保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

国民健康保険は、社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的に、被保険者の疾病、出産及び死亡などに関し必要な保険給付を行う医療保険制度で、国民皆保険体制の基礎となる制度として地域医療の確保や町民の健康保持増進に大きく貢献しております。

令和4年度呂楽町国民健康保険特別会計予算総額は、前年度に比べ9,991万9,000円減額の28億6,110万5,000円です。現在、町の国民健康保険加入者は、人口の約4分の1を占めており、世帯においては約4割が加入しております。加入者は減少傾向にあり、低所得者や高齢者の加入割合が高いなどの構造的な課題を抱えています。また、医療費は高齢化や医療技術の高度化もあり、国民健康保険財政は依然として厳しい状況にあります。

平成30年度から県が事業運営に加わり、広域化に移行しましたが、引き続き町が担う特定健診や保健指導など、医療費削減に向けた保健事業や医療費適正化対策などを推進していただくとともに、県と連携し一層の国民健康保険財政の健全化を図っていただき、持続可能な国民健康保険制度となるよう期待して、本予算に賛成いたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第16号 令和4年度邑楽町国民健康保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第3 議案第17号 令和4年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算

○松村 潤議長 日程第3、議案第17号 令和4年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第17号 令和4年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第4 議案第18号 令和4年度邑楽町介護保険特別会計予算

○松村 潤議長 日程第4、議案第18号 令和4年度邑楽町介護保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

塩井早苗議員。

〔8番 塩井早苗議員登壇〕

○8番 塩井早苗議員 議案第18号 令和4年度邑楽町介護保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

介護保険制度は、制度施行以来22年、令和4年度は23年目となります。この間、本町の高齢化率は着実に上昇し、第1号被保険者の高齢化率は2月末をもって32.46%となっています。当然要介護高齢者、認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者など、日常生活を送る上で何らかの支援や介護を必要とする高齢者は確実に増加しています。

このような状況の中、令和4年度の介護保険特別会計予算の総額は21億862万1,000円で、前年度に比べ568万8,000円、率にして0.27%の増となっています。

介護サービス給付費は、着実に増加の一途をたどっており、今後はさらにサービス量の増加が見込まれ、厳しい財政状況になることも予想されます。令和4年度は、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中間年度となります。ますます健全な介護保険財政を保ちつつ、高齢者の方が住み慣れた地域で自立した生活を安心して送れるよう、よりニーズに合った介護保険事業の運営を心がけていただくとともに、健康づくりの取組、介護予防、重度化防止対策、地域の社会資源を生かした支援やサービスの充実を図ることを要望し、本案に賛成いたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第18号 令和4年度邑楽町介護保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○松村 潤議長 起立多数。

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

---

◎日程第5 議案第19号 令和4年度邑楽町下水道事業特別会計予算

○松村 潤議長 日程第5、議案第19号 令和4年度邑楽町下水道事業特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

佐藤富代議員。

〔2番 佐藤富代議員登壇〕

○2番 佐藤富代議員 議案第19号 令和4年度邑楽町下水道事業特別会計予算について賛成討論を行います。

現在の公共下水道の供用開始区域は、新中野、明野地区の大半の編入が完了し、222ヘクタールとなりました。関係者のご理解の下、接続率も約8割と順調に推移しております。

令和4年度の予算総額は4億4,394万円で、令和3年度に比べ16%の増加となっております。人口減少などにより厳しい財政状況下ではありますが、さらなる排水接続人口の推進を図り、継続的な事業運営、効率的な事業計画及び執行により公共用水域の保全と町民の生活環境の向上を図ることを要望し、本案に賛成いたします。

○松村 潤議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○松村 潤議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第19号 令和4年度邑楽町下水道事業特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○松村 潤議長 起立全員。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

---

#### ◎散会の宣告

○松村 潤議長 以上で本日の日程は終了しました。

明日18日は午前10時から会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

〔午前10時47分 散会〕